

特別大会記録

2009年度 言語政策学会特別大会が、名古屋外国語大学との共催で、「国家戦略としての言語政策を考える(1)」というテーマの下、2009年11月21日(土)、名古屋外国語大学で行われた。

大会は、本学会顧問でもある、水谷修名古屋外国語大学学長による、「受容型の外国語教育から発信型の外国語教育へ」と題する基調講演をはじめとするいくつかのセッションで構成された。水谷氏からは、島国発想から開国型発想へ、ならびに、外国語教育のあり方に関する提言などがなされたのに続き、宮崎里司氏(早稲田大学)による司会の下、日本語教育と外国語教育における緊急課題報告が行われた。「日本語教育の課題」では、木村哲也氏(杏林大学)による、「日本語教育振興法」の法制化、その意義と課題」が、そして、「外国語教育の課題」では、西山教行氏(京都大学)による、「『ヨーロッパ言語共通参照枠』から『ヨーロッパ教育空間』へ：ヨーロッパ言語教育政策の新たな展開」と題する報告がなされた。引き続き、シンポジウム「多言語教育の推進を求めて」(田中慎也 学会会長)では、大谷泰照氏(名古屋外国語大学)がディスカッサントを務め、4人のパネラー、森住衛氏(桜美林大学、英語教育学会会長)、尾崎明人氏(名古屋外国語大学、日本語教育学会会長)、杉谷眞佐子(関西大学、日本言語政策学会副会長)、中野佳代子(財団法人国際文化フォーラム事務局長)が、それぞれの専門の立場から、多言語教育の推進における、外国語ならびに日本語の役割の意義について発表があり、その後フロアとの質疑応答や議論が展開された。

なお、本大会では、文化庁国語審議会委員ならびに国立国語研究所の所長を歴任した、水谷修本学会顧問に対し、長年の国語施策や日本語教育推進への功績を称えるため、中川正春文部科学副大臣から、メッセージを賜ったことを付記しておく。

文責 宮崎里司(本学会事務局長・理事)

日本言語政策学会 名古屋外国語大学共催 特別大会

「国家戦略としての言語政策を考える」(1)

日 時：2009年11月21日(土) 13:00-17:30

会 場：名古屋外国語大学7号地下701教室

- 12:00 受付開始
- 12:50 開会の辞 田中慎也(日本言語政策学会会長)
会場校挨拶 中道真木夫(名古屋外国語大学 日本語学科長)
- 13:00~14:00 基調講演 水谷修(名古屋外国語大学学長、本学会顧問)
- 14:00~15:00 緊急課題報告 司会：宮崎里司
1. 日本語教育の課題(木村哲也 杏林大学)
「日本語教育振興法」の法制化、その意義と課題
 2. 外国語教育の課題(西山教行 京都大学)
『ヨーロッパ共通参照枠』から「ヨーロッパ教育空間」へ：
ヨーロッパ言語教育政策の新たな展開
- 15:00~17:30 シンポジウム「多言語教育の推進を求めて」
司会：田中慎也(本学会会長)
ディスカッサント：大谷泰照(名古屋外国語大学)
パネラー：森住衛(桜美林大学 大学英語教育学会会長)
尾崎明人(名古屋外国語大学 日本語教育学会会長)
杉谷真佐子(関西大学 本学会副会長)
中野佳代子(財団法人 国際文化フォーラム事務局長)
- 閉会の辞 橘好碩(本学会副会長)
- 18:00~19:30 懇親会 (7号地下701教室)